



学長挨拶 札幌保健医療大学 学長 大日向 輝美

青葉の候、益々清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素より本学の教育研究活動にご理解とご支援を賜り、御礼申し上げます。

札幌保健医療大学広報誌WILL第13号をお届けします。大学の動きや学生生活の様子を垣間見ていただけますと幸甚に存じます。

去る3月15日、本学は卒業証書・学位記授与式を挙行し、看護学科第10期生95名、栄養学科第6期生54名の卒業生を送り出しました。今後は看護・栄養専門職として人々のよりよい健康のために力を尽くしてくれるようになります。卒業生の就職先を対象に一昨年実施した調査では、本学卒業生に対する評価は概ね良好であり、とりわけ誠実さや謙虚さ、人への配慮等の態度領域に高い評価を頂戴しました。「人間力教育を根幹とした医療人の育成」を教育理念に掲げる本学にとって、卒業生が理念を体現する存在になりえていることに喜びを感じるとともに、今後一層の活躍を期待するところです。また同日、2023年に開設した大学院保健医療学研究科修士課程初の修了生2名に修士(保健医療学)の学位を授与いたしました。仕事と学業を両立させて研究を成し遂げた2名の修了生には、心から敬意を表します。

4月2日には、看護学科101名、栄養学科24名が入学し、希望にあふれる大学生活のスタートを切りました。新入生においては学業を本分としながらも、課外活動にも積極的に取り組み、大学生ならでその充実した4年間にしてもらいたいと思います。

さて、保護者の皆さまには郵送にて通知させていただいておりますが、改めてお知らせ申し上げます。

本学栄養学科に関しまして、学校法人吉田学園は2027年度入学生を最後に、2028年度以降の学生募集停止を決定いたしました。2017年の開設以降、「健康」「生活」「食と栄養」にかかわる人材育成に尽力し、225名の卒業生を送り出してまいりました。しかしながら、18歳人口の著しい減少と少子化加速の影響は甚大であるうえ、全国的な管理栄養士志望者の大幅減により、入学定員を充足できない状況が続いております。大学としては、栄養学科の存続に向けて様々な可能性を模索し、教職員一丸となって努力してまいりましたが、今後の定員充足は困難と判断せざるをえず、大変残念ながらこのたびの決定となった次第です。

現在、栄養学科に在籍中の学生及び2027年度入学生の皆さまが有意義な学生生活を送り卒業を迎えることができますよう、教職員が一丸となって修学支援・生活支援の充実に取り組んでまいりまいる所存です。学生募集を停止しましても、教育学習環境、支援内容等に一切の変更はございませんので、ご安心ください。

保護者の皆さまにおかれましては、今後とも、これまで同様のご支援・ご協力を賜りますよう、重ねてお願い申し上げます。



女子バスケットボール部

1部リーグへの昇格が決定！

2025年10月4日(土)~26日(日)に開催された「第70回北海道大学バスケットボール選手権大会」において、2部リーグ7戦全勝で優勝を果たし、2026年度の1部リーグへの昇格が決定しました。

【試合結果】

- ① 本学 ○ 106-43 ● 帯広畜産大学
- ② 本学 ○ 104-57 ● 北海道医療大学
- ③ 本学 ○ 117-47 ● 北海道教育大学札幌
- ④ 本学 ○ 107-46 ● 札幌医科大学
- ⑤ 本学 ○ 101-38 ● 北海道大学
- ⑥ 本学 ○ 154-50 ● 北海道教育大学釧路
- ⑦ 本学 ○ 126-43 ● 東海大学札幌

今年度は新入生を迎えた新チームで1部リーグに挑戦しますので、引き続きご声援をよろしくお願いいたします。



CONTENTS

- 学長挨拶…………… 1
- 学位記授与式…………… 2
- 卒業生コメント …… 3
- 活動紹介 …………… 4~7
- 国家試験結果 …………… 8
- 就職・進学先一覧
- 2026年度入試結果

2026年3月15日(日)、2025年度の卒業証書・学位記授与式をかたる2・7(北海道立道民活動センター)にて挙行了しました。今年度は保健医療学部 看護学科10期生の95名、栄養学科6期生の54名の卒業生と大学院2名の修了生、計151名を送り出しました。学長から卒業生代表へ卒業証書・学位記が授与されたのち、在籍生を代表して栄養学科 幸池夏旺さんが送辞、卒業生を代表して看護学科 権代琴美さんが謝辞を述べました。来賓・保護者の皆さまから盛大な祝福を受ける中、友人や恩師との別れを惜しみつつ、それぞれ新たな一歩を踏み出していきました。



2025年度

卒業証書・学位記授与式



卒業生謝辞

肌寒さの残る中にも、春の訪れを感じられるようになった良き日に、私たちは晴れて卒業の日を迎えることができ、卒業生一同大変うれしく思っております。

本日は、私たち卒業生のために、このような盛大な式を挙げて頂き、誠にありがとうございます。ご臨席を賜りましたご来賓の皆様、ならびに、学長先生をはじめ、諸先生方、ご多忙の中ご出席くださいました皆様にご祝辞と激励のお言葉をいただきましたことに、心から感謝申し上げます。喜びとともに、私たちに託された使命と責任の重さを改めて実感し、身の引き締まる思いであります。

4年前の春、少しの不安と期待を胸にこの大学の門をくぐりました。振り返れば、貴重な経験を重ねながらも、一つひとつの課題に必死に向き合い続けた4年間であり、過ぎてみればあつという間の日々であったと感じております。

日々の学習の中では、思うように知識が定着しなかったり、アセスメントが上手くできずに悩んだりすることもありました。しかしその積み重ねの中で、確かな知識と根拠をもって思考することの重要性を、日を追うごとに実感いたしました。時には挫折を感じることもありましたが、だからこそ一つひとつの理解や成功が自分の成長を感じさせてくれました。そしてその知識を実際に現場で活かす臨地実習を通して、学びを行動に移す難しさと達成感を深く実感することとなりました。

臨地実習では、自分の未熟さを痛感した場面がありましたが、指導してくださった方々の丁寧なご指導により、そして受け持たせていただいた患者様との関わりにより、かけがえのない学びを積み重ねることができました。受け持たせていただいた患者様の笑顔は、これからも私の原点として心に残り続けることと思います。

私は中学生のころから看護師にあこがれを抱いておりました。大学で専門的に看護を学ぶことができ、夢に一歩近づけた

ことを大変うれしく思っております。これからは、あの頃の自分に恥じることはないよう、努力してまいります。

実習や国家試験の勉強の中で、不安を感じ、自信を失いそうになることもありました。そのようなときに「お疲れ様」「頑張っているよ」と励まし合った仲間との時間はこれから先も忘れない、人生の大きな財産となりました。またいつも静かに見守ってくださり、言葉にならない想いを察して支え続けてくださっている家族には心から感謝しています。そして温かいご指導と激励を届けてくださった先生方のおかげで、ここまで歩んでくることができました。心より感謝申し上げます。

本日は、私たち看護学科10期生、栄養学科6期生は、この札幌保健医療大学を卒業します。本学で培った「豊かな感性」、「高潔な精神」、「確かな知力」、「他者との共存」を胸に、社会に貢献できるよう、日々精進してまいります。これから保健医療職として私たちが関わる一人ひとりの想いを大切に、知識を備えているだけでなく、深く思考し行動へとつなげることのできる看護師、保健師、管理栄養士、栄養教諭を目指します。

最後になりますが、今日まで熱心なご指導とサポートをしてくださいました教職員の方々、実習指導者の皆さま、いつも温かく見守ってくれた家族、私たちを支えてくださったすべての方々に、卒業生を代表して心より感謝申し上げます。また、札幌保健医療大学のさらなる発展と、皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げ、謝辞とさせていただきます。

2026年3月15日

卒業生代表
保健医療学部 看護学科

権代 琴美



卒業生コメント

看護学科 佐藤 心花 (市立札幌開成中等教育学校卒)

就職先：大阪府・保健師

領域別実習や保健師実習では、記録物の多さや生活リズムの変化に戸惑い、大変だと感じることも多くありました。しかし、今振り返ると、それらの経験は自身を成長させ、新たな視点を得ることができた貴重な機会であったと感じています。また、これらの学びは自分一人の力ではなく、支えてくださった教員や友人、家族、そして学生である私を受け入れてくださった患者様や地域の方々のおかげで得られたものです。大学での4年間で得た学びを無駄にすることなく、感謝の気持ちを胸に、保健師として住民一人ひとりの生活に寄り添い、支えていけるよう努めていきたいと思っています。



看護学科 春木 在凱 (北海道札幌東陵高等学校卒)

就職先：札幌北楡病院・看護師

4年間の大学生活を振り返ると、慣れないことの連続で、あっという間に時間が過ぎていったように思います。学年が上がるごとに実習や国家試験など乗り越えるべき壁に直面し、成長しなければならない思いを強く感じてきました。その中で共に高め合ってきた友人や支えてくださった先生方の存在があったからこそ充実した楽しい学生生活を送ることが出来ました。人と人とのつながりは、人間力を形成していく上でかけがえのない財産です。大学で培った人間力を看護の現場で発揮できるよう、今後も努力を重ねていきたいです。



看護学科 小山 菜那 (北海道石狩南高等学校卒)

就職先：札幌西円山病院・看護師

勉強や課題、実習など大変なことがたくさんありましたが、1つ1つの経験や得た知識が看護師への道に着実に近づくかせてくれたと思います。4年間は、これからの人生におけるかけがえのない財産になりました。途中で辞めてしまいたいと思うこともありましたが、先生や家族、友人からの支えがあったことで乗り越えられました。辛い時は1人で抱え込まずに友人や家族、先生など信頼できる人に相談してください。きっと力になってくれます。4月からは、看護師として日々の経験や学習を積み重ねていながら自分の理想とする看護師に近づいていけるよう努力します。



栄養学科 川村 梨乃 (北海道霧多布高等学校卒)

就職先：泊村保健センター・管理栄養士

大学生活では、専門的な知識の習得だけでなく、実習や仲間との学びを通して多くの経験を積むことができました。特に実習では、現場で求められる責任やチームで支え合うことの大切さを学び、大きく成長できたと感じています。

今後は泊村保健センターにて、これまで学んできた知識と経験を活かしながら、地域住民一人ひとりに寄り添った支援ができる管理栄養士を目指していきたいです。また、信頼される存在となれるよう、常に学び続ける姿勢を大切にしながら努力していきます。



栄養学科 後藤 誠弥 (北海道帯広南商業高等学校卒)

就職先：サツドラホールディングス株式会社・総合職

大学生活を振り返って、学生でありながら社会人になるために多くのことに挑戦しつつ様々な経験を積み奮闘した4年間だったと思います。特に国家試験の勉強では、4年間の勉強をこの1年で改めてしないとイケなく、自分は全然勉強してきてなかったため、改めて勉強する時には分からない単語だらけで大変苦戦しました。私の就職先は資格を直接活かせる仕事ではないですが、間接的に関わり仕事での強みを増やしたり、仕事以外でも人々を健康にできると思うので、あらゆる面で大学で学んだことを活かし周りの人を健康にしていきたいです。



栄養学科 齋藤 思奈 (北海道釧路江南高等学校卒)

就職先：カレス記念病院・管理栄養士

大学で過ごした4年間はとてまあっという間で、実習や講義で忙しい日々でしたが、こんなに充実した大学生活を送れるとは思っていませんでした。特にサークル活動では、栄養講座などを企画し自分たちでテーマ決めから資料作り、発表まで行うことで、栄養の知識を伝えることの楽しさを学びました。後輩のみなさんは国家試験が近づくと不安な気持ちになると思いますが、周りには一緒に頑張る友達も、支えてくれる先生もいるので、気負いすぎずに頑張してほしいです。私も4月から病院管理栄養士として患者様に寄り添った栄養管理ができるよう精進していきたいと思っています。





体育大会

2025年5月9日(金)、学友会主催の「第12回体育大会」を開催しました。今回のスローガンは「今日全力でやりゃあいいじゃん」。そこには「今日できることを全力です! 全力で楽しもう!」という思いが込められています。そのスローガン通り、「玉入れ」「綱引き」「ドッジボール」「障害物リレー」「チーム対抗リレー」の5種目を参加者全員が一丸となって全力で取り組みました。今回は数年振りにつどいでの開催となり、学生はのびのびと様々なスポーツを楽しみながら、学科や学年の垣根を越えて親交を深めました。



札幌祭



2025年10月12日(日)、第11回となる札幌祭を開催しました。今年のテーマは『笑顔満祭』。子供向け縁日、札幌フリーマーケット、お化け屋敷脱出ゲーム、OPEN LIBRARY、nipocafe、ヘルスコンディションチェックに加え、体育館ステージでは、札幌丘珠高校書道部によるパフォーマンスや丘珠ひばり児童会館の子どもたちによるダンスパフォーマンス「ひばダン」などが行われました。参加型のステージプログラムも多く、たくさんの皆さんにご参加いただきました。

模擬店も多数出展され、栄養学科の「食育ボランティアサークル」×「サンドリア」さま×「国分北海道」さまとのコラボ企画で開発したサンドウィッチも販売されました。その他にも、クロッフル、たこ焼き、冷やしうどん、小籠包、ジェラート、ピザ、焼き鳥、ドライカレー、削りいちごなど、学生や教職員が力を合わせて作り上げた多彩な模擬店が軒を連ね、会場は大いににぎわいました。

地域・世代の垣根を越えて、学生と来場者がともに楽しいひとときを過ごす一日となりました。



ホームカミングデー



卒業生対象の「ホームカミングデー」を札幌祭と同日に開催し、20名近くの卒業生にご参加いただきました。在学生も加わり、近況報告や思い出話に花を咲かせながら、和やかな交流の場となりました。今回は札幌大にまつわる〇×クイズも実施され、参加者の熱気が高まり、会場はにぎわいを見せました。

また、模擬店で使用できる金券も配付され、ホームカミングデーとあわせて札幌祭の雰囲気も満喫していただきました。参加者からは「大学祭も楽しめて良かった」「久々にみんなに会えてよかった」といった声が寄せられるなど、再会の喜びとともに、思い思いの時間を過ごしていただく機会となりました。



Grow-up Ceremony

2025年11月8日(土)に、2年生を対象として「Grow-up Ceremony」を開催しました。この式典は、保健医療職を目指す学生がその使命と責任を再認識し、さらに高度な学びへと進む意欲を新たにすることを目的としています。当日は卒業生の講話も行われ、「先輩の姿に感銘を受けた」「自分の目標が明確になった」といった感想が多く寄せられ、学生のモチベーション向上に繋がりました。これから始まる臨地実習に役立ててもらえればと学長から学生に記念品として臨地実習用バッグが手渡されました。



オープンキャンパス



2025年度のオープンキャンパスは、6月、7月、8月、9月、11月、3月の計6回開催し、延450名(保護者を除く)の方々にご参加いただきました。両学科とも、大学内の施設見学や在学生とのトークに加え、各学科の特色を生かした体験演習を実施しました。特に、学生スタッフが積極的に参加者と関わっており、参加者アンケートでは「先生方や生徒の方が親身に話を聞いてくれたり、アドバイスをくれたり、とても参考になりました。」「学生さんや先生方に親切に説明をもらえて、この学校に通いたいという気持ちが高まった。」「大学に入る上で不安なことがありましたが、この機会ですぐ不安がなくなりこの保健医療大学に入学したいという強い意志ができたのでほんとに今日はすごくいい機会をいただきました。またお邪魔します!!」といった嬉しい感想がたくさん寄せられました。2026年度も、本学の魅力を体感していただけるプログラムを企画していきます。



【2026年度 オープンキャンパス日程】

〈2026〉 6月13日(土) / 7月25日(土) / 8月1日(土)* / 9月5日(土) / 11月28日(土)*
※大学院も同時開催

●開催時間 13:00 ~ 15:30 (全日程共通)

●無料送迎バス運行 12:00 札幌駅北口 北海道銀行様前2番出口または3番出口付近集合



詳細はホームページをご確認ください



2026年度入学式



2026年4月2日(木)、かでの2・7(北海道立道民活動センター)にて「2026年度 札幌保健医療大学・大学院 入学式」を挙行了。保健医療学部看護学科14期生101名、栄養学科10期生24名、大学院入学生2名、計127名が入学し、期待を胸に新たな学生生活をスタートさせました。入学式終了後には「保護者説明会」が開催され、多数の保護者の皆さまにご出席いただきました。





看護学科

高齢者疑似体験実習

体験キットを装着することで視界の変化や関節の動かしづらさを体感し、高齢者の身体的変化や生活の困難さに対する理解を深めました。



母性看護活動論 I

妊産褥婦、新生児に対する看護技術を演習授業で学びました。意見交換や教員からの助言を通じて、多くの気づきを得られました。



栄養学科

給食経営管理論実習

献立の作成から調理・提供までを実践し、大量調理の手法や衛生管理の大切さについて学びました。



WILL FARM Cafe (食育農場演習)

大学農場で育てた札幌大球やいもなどを収穫し、特性を生かして調理。農作業を経験することで食物の大切さを学びました。



2025年度 公開講座

2025年度は6月7日(土)に地域の皆さまを対象とした公開講座を開催しました。栄養学科・百々瀬いづみ教授による講座「健康をつくる正しい食べ方とは? ~自分の「食べ方」をチェックしてみましょう! ~」を実施。前半は、体組成測定・野菜の摂取量診断(ベジチェック)・血圧測定・料理カードによるバイキング形式で食事内容を評価する演習体験を実施。後半は、測定結果を確認しながら正しい食べ方を学び、自身の食習慣を見直す講座でした。参加者からは、「正しい食べ方を見直す良い機会になった」といった声が寄せられ、食事を見つめ直すきっかけとなる講座となりました。今後も地域の皆さまへの情報発信と交流の場を提供します。



ひがしく 健康・スポーツ まつり



2025年10月19日(日)につどーむで『ひがしく健康・スポーツまつり2025』が開催され、「生活習慣を振り返ろう」をテーマに、「地域交流祭」を兼ねて5つの学生グループが参加しました。

出展ブースでは、「血圧測定」や「ベジチェック(野菜の摂取量測定)」の2つの健康チェックを実施し、その測定結果を基に、フレイル予防・生活習慣病対策、高血圧予防など「健康アドバイス」を行いました。参加者からは「健康への意識が向上し、また参加したい」などの感想が寄せられました。



丘珠空港 おもてなし プロジェクト



第2弾 | 丘珠空港おもてなし隊

東区まちづくりセンターと本学との共同企画「2025丘珠空港おもてなしプロジェクト」として、昨年に引き続き「札幌保健医療大学 丘珠空港おもてなし隊」を8月7日(木)・8日(金)の2日間に渡り実施しました。

2日間のイベントでしたが、丘珠空港を利用された約160名の方にお立ち寄りいただき、本学の学生ボランティアと教職員が血圧測定とベジチェックを実施しました。

参加された皆さまから「手のひらで野菜不足がわかるなんて驚きました。気軽にできるのでいいですね」「自分が思っているより、野菜が摂れてないことを気付かされました」「野菜をこれまで以上に摂らないと、感じました」といった声が聞かれました。昨年と同様に「もっと野菜を食べよう」という意識を持たれた方が多く、「次回もまた来たい」というお言葉もいただきました。



令和7年度「声かけあい、支え合う、ひがし区民協議会」交流会

2025年12月3日(水)に東区民センターにて令和7年度「声かけあい、支え合う、ひがし区民協議会」交流会が開催され、東区各地区町内会の他、東区の16団体、タッピーフレンズとして15団体、官公庁5団体が出席しました。

「地域安全」及び「ウェルネス」をテーマに二部構成で開催、第1部は3団体が日頃の実践内容を発表し、2部では、8団体のパネル出展があり、本学看護学科の河崎教授と小野准教授が10月25日(土)に開催された「地域交流祭」について、学生が作成した資料をもとに展示・発表をしました。他には体験型の出展もあり様々な取り組みが紹介されていました。

訪れた方々は、大学での取り組みや学生の活動について興味を持たれ、今後も東区の健康づくりに向けた活動を望まれていました。



看護学科10期生・栄養学科6期生の国家試験結果と就職状況

国家試験合格おめでとうございます！

◎看護学科10期生 国家試験 結果

第115回看護師国家試験は、
本学から95名が受験し90名が合格しました。

本学合格率 **94.7%**
新卒全国平均 94.1%

第112回保健師国家試験は、
本学から14名が受験し14名が合格しました。

本学合格率 **100%**
新卒全国平均 89.9%

◎栄養学科6期生 国家試験 結果

第40回管理栄養士国家試験は、
本学から48名が受験し18名が合格しました。

本学合格率 **37.5%**
全国平均 48.1%

◎卒業生の主な就職先 ※2026年3月末実績

看護学科

看護師 ほか

〈札幌市内〉
北海道大学病院、JCHO北海道病院、JCHO札幌北辰病院、JR札幌病院、
イムス札幌消化器中央総合病院、カレス記念病院、札幌孝仁会記念病院、
札幌禎心会病院、札幌徳洲会病院、札幌西円山病院、札幌東徳洲会病院、
市立札幌病院、手稲仁会病院、道立病院局、札幌医科大学附属病院、静和
記念病院、北海道脳神経外科病院、東苗穂病院、札幌厚生病院、KKR札幌
医療センター、札幌太田病院、札幌北楡病院
〈北海道内〉
名寄市立総合病院、帯広厚生病院、石狩病院、俱知安厚生病院、小樽掖済会
病院
〈北海道外〉
イムス高島平中央総合病院、SBCメディカルグループ、国立国際医療研究
センター病院、昭和医科大学病院、福寿会病院、東京医科大学八王子医療
センター、湘南鎌倉総合病院、埼玉県立小児医療センター、湘南大磯病院、
亀田総合病院、順天堂大学医学部附属浦安病院、新百合ヶ丘総合病院、神戸
市民病院機構中央市民病院 ほか

保健師

JR札幌病院、芦別市、上土幌町、日高町、大阪府

進学

札幌医科大学助産学専攻、北海道教育大学函館校養護教諭特別別科

栄養学科

管理栄養士・栄養士 ほか

〈公務員〉
北海道（衛生監視員）、泊村、旭川市立永山小学校（栄養
教諭）
〈病院〉
カレス記念病院、利尻町国保病院、手稲溪仁会病院、
札幌東徳洲会病院、湘南美容外科クリニック
〈社会福祉施設〉
社会福祉法人経山会、社会福祉法人湖星会、(株)リビング
プラットフォーム
〈教育機関・保育園〉
社会福祉法人丸瀬布福祉会、社会福祉法人札幌光明園、
社会福祉法人共愛福祉認定こども園明園保育園、桃の花
メイト会、社会福祉法人札幌恵友会、新川幼稚園、大地
太陽幼稚園
〈受託給食会社〉
日清医療食品(株)、(株)LEOC、コンパスグループ・ジャパン
(株)、シダックスフードサービス(株)
〈食品メーカー・商品開発・一般企業など〉
(株)アインホールディングス、(株)ツルハ、(株)サッポロ
ドラッグストア、(株)サンドラッグプラス、(株)弁釜、
ファーマーズライズホールディングス(株)、デリカフーズ
ホールディングス(株) ほか

※順不同

2026年度 入試結果 入試区分別志願者・受験者・合格者・入学者数

看護学科							栄養学科							
入試区分	募集人数	志願者	受験者	合格者	入学者	倍率	入試区分	募集人数	志願者	受験者	合格者	入学者	倍率	
総合型	前期	12	26	25	25	23	総合型	前期	10	9	9	9	9	1.0
	後期	4	7	7	7	7		後期	3	1	1	1	1	1.0
学校推薦型		35	35	35	35	35	学校推薦型		15	13	13	13	13	1.0
社会人		0	0	0	0	0	社会人		0	0	0	0	0	-
一般	前期A日程	12	66	65	65	22	一般	前期A日程	2	2	2	2	1	1.0
	前期B日程	6	29	27	27	1		前期B日程	2	2	2	2	0	1.0
	後期	2	2	1	1	0		後期	2	0	0	0	0	-
共通テスト 利用	前期	5	59	59	56	8	共通テスト 利用	前期	2	5	5	5	0	1.0
	中期	2	11	11	11	5		中期	2	1	1	1	0	1.0
	後期	2	2	2	2	0		後期	2	1	1	1	0	1.0
合計		80	237	232	229	101	編入学		若干名	0	0	0	0	-
							合計		40	34	34	34	24	1.0

◎編集・発行 札幌保健医療大学 事務局 進路支援課

ホームページへの
アクセスはこちら



所在地：〒007-0894 札幌市東区中沼西4条2丁目1-15 / TEL：011-792-3350

ホームページ：www.sapporo-hokeniryu-u.ac.jp